

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	西日本鉄道株式会社
期間中の総整備費	4,073 百万円
期間中の総徴収額	1,775 百万円
備考	百万円未満は切り捨て表示

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	1 駅	6 番線	1 駅	6 番線	100 %
エレベーター	1 駅	3 基	1 駅	3 基	100 %
エスカレーター	1 駅	6 基	1 駅	6 基	100 %
スロープ	駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
内方線付点状ブロック	1 駅	6 番線	1 駅	6 番線	100 %
段差隙間縮小に資する設備	2 駅	10 番線	2 駅	10 番線	100 %
バリアフリースイレ	8 駅	8 ヶ所	8 駅	8 ヶ所	100 %
車両のフリースペース	11 編成	22 両	11 編成	22 両	100 %
その他	34 駅		34 駅		100 %
備考	その他				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	6 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	1 駅
	二経路以上確保駅	駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	1 駅	6 番線	1,301 百万円
エレベーター	1 駅	3 基	61 百万円
エスカレーター	1 駅	6 基	205 百万円
スロープ	駅	ヶ所	百万円
内方線付点状ブロック	1 駅	6 番線	154 百万円
段差隙間縮小	2 駅	10 番線	463 百万円
バリアフリースイッチ	8 駅	8 ヶ所	54 百万円
車両のフリースペース	11 編成	22 両 (※1)	2 百万円
その他	34 駅 (※2)		769 百万円
備考	※1：既存車両のフリースペースの拡幅による基準適合化 ※2：列車の接近を警告する装置、非常通報装置、案内設備(LCD)、 触知案内板、券売機(基準適合化)、視覚障がい者用誘導ブロック、 渡り板設置など		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	2 駅	3 基	83 百万円
エスカレーター	3 駅	6 基	144 百万円
バリアフリースイッチ	駅	ヶ所	百万円
車両	編成	両	百万円
その他	各 駅 (※3)		290 百万円
備考	※3：エスカレーター音声案内装置(基準適合化)、案内設備(LCD)、 券売機(基準適合化)、内方線付点状ブロック、視覚障がい者用 誘導ブロックなど		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			
維持管理費	514	百万円	
収受システム改修費	4	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	24	百万円	
備考	駅務機器改修費、駅頭表示改修費		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

整備等計画については、計画通りに進捗したため、特段の記載はなし